

# 令和6年度 昇段試験実施要項 (毛筆部)

一、試験応募×切 令和七年二月二十日(休) 必着

二、試験部門

三、受験資格

○毛筆部(硬筆部は、毎年十月に実施)  
○毛筆部で、漢字、かな、創作部門のいずれかが一級以上で令和六年三月号から令和六年十二月号まで、十回の課題作品のうち五回以上出品した人。  
(ただし、一級に昇級した後の出品回数は問わない)  
○受験票は二月号書朋に同封します。  
(応募資格の期間中に支部を変更した為、五回出品はしているが、受験票がない方は、お問い合わせ先にご連絡下さい。)

四、受験料

初〜二段 四、四〇〇円 三段〜六段 五、五〇〇円  
師 範 六、六〇〇円  
○受験料は令和七年三月二十七日(休)に、機関誌代金を振替えているご指定の口座より振替えます。

五、段位合格者

○本試験に合格したものは、現在の段・級を一段位昇段します。(ただし、初段受験者で、二級以下の部門がある場合でも一部門で合格すれば毛筆部の全部門初段となります。)  
○六段と師範の間に準師範を設けますが、師範は六段からも受験できます。  
○師範合格者には、当協会師範認定書(額つき)を交付します。(本人実費負担)  
○各段合格者には認定書を交付します。(令和七年四月中旬頃五月号に同封予定)

八、試験課題

○「成績票」は三月二十日(休)頃の送本に同封いたします。なお合格者名簿は当協会のホームページで三月二十日(休)頃に発表いたします。

六、出品の注意

◆受験する段によって用紙サイズが違います。又、課題間違い、用紙サイズ間違い、出品枚数違いはすべて違反になり、審査できません。よく確認して提出して下さい。又、令和五年度の毛筆昇段試験の講評(二〇二四年四月号掲載)を、当協会ホームページのお知らせ欄に掲載しています。昇段試験を受ける段の審査評を参考に、問題に取り組んで下さい。

七、出品方法(試験課題、出品方法をよく読んで提出して下さい。)

◆初段受験者⇒課題①②③④⑤の中から、三課題を選択、および⑥の計四点。

◆二段受験者⇒①②③④から二課題を選択、および⑤⑥の計四点。

◆三段・四段受験者⇒①②③から一課題を選択、および④⑤⑥計四点。

◆五段・六段受験者⇒①②③から二課題を選択、および④⑤⑥計五点。

⑥の創作は書体・字数ともに自由。①②③の書体と重複してもかまわない。

◆総ての受験者は、受験票を作品の一番上に重ねてクリップ留めのこと。

◆師範受験者は⑥の課題を初段〜六段と同じ課題で事前に制作し、受験当日(二月二十一日(土))に出品できる状態にして必ずご持参下さい。

★師範試験受験は左の実施要項のとおり、受験の申し込みをして下さい。

※(注意)

1、師範受験者のみの支部も受験者名簿は二月二十日(休)必着で送付して下さい。

2、作品は初段・四段は四点、五段・六段は五点を課題順に広げて重ね、(左上)に受験票をクリップ止めし、封筒に入る大きさに折りたたみ、個人別に角〇(287×382mm)の封筒に入れ、封筒表右上に昇段試験出品送付票をのりづけすること。(封筒は右の大きさに自分で作ったものでもよい。)

3、月例作品と混同しないよう別の封筒に入れ、その表に昇段試験応募と朱書きすること。同一支部で二人以上出品者がある時は個人別に入れた封筒を重ねて、その上に受験者名簿を添え、一括して包装して送ること。

4、作品は本協会事務所(左記へ)送付すること。

送付先 〒520-0853 大津市萱谷一三七九〇二 リヴラン大津石山902号室 滋賀県書道協会 毛筆昇段試験係

六段受験者	五段受験者	四段受験者	三段受験者	二段受験者	初段受験者		
図版1より連続する個所を半切に臨書する。 (タテ書き、ヨコ書き自由・行数字数も自由)				図版1より1字か連続する2字を タテに臨書する。		篆書・隸書部 ①	用紙
画仙紙半切 (136cm×35cm)				画仙紙半切½(タテ68cm×ヨコ35cm) タテに使用			
図版2より連続する個所をタテ半切に臨書する。 (タテ書き、行数・字数は自由)				図版2より連続する個所を タテに臨書する。 (タテ書き、行数・字数は自由)		楷書部 ②	用紙
画仙紙半切 (タテ136cm×ヨコ35cm) タテに使用				画仙紙半切½(タテ68cm×ヨコ35cm) タテに使用			
図版3を臨書する。 (文字数・行数自由。ただし連続する箇所とする。)				図版3より連続する 2〜5字をタテに臨書する。		行書・草書部 ③	用紙
画仙紙半切 (タテ136cm×ヨコ35cm) タテに使用				画仙紙半切½(タテ68cm×ヨコ35cm) タテに使用			
図版4を臨書する。 ・画仙紙縦半切に全部を臨書する。		図版4を臨書する。 ・半紙・半懐紙に全部を臨書する。 または、画仙紙縦半切に全部を臨書する。 (小さい紙に書かれた場合は、半紙・半懐紙に貼って出品のこと)		図版4を臨書する。 ・半紙・半懐紙に全部を臨書する。 (小さい紙に書かれた場合は、半紙・半懐紙に貼って出品のこと)		かな部 ④	用紙
画仙紙半切 (タテ136cm×ヨコ35cm) 使用		半紙・半懐紙タテに使用 または 画仙紙半切 (タテ136cm×ヨコ35cm) 使用		半紙・半懐紙タテに使用			
☆行数や配字は各自工夫すること ※文面の個人名、団体名は架空のもの。				次 文 面 の 賞 状 を 配 字 よ く 書 く 。 優 秀 賞 賞 状 自 分 の 氏 名 あなたは令和六年度技術能力開発プロジェクトにおいて頭書の成績をおさめられましたのでこれを賞します 令和七年二月二十二日 滋賀創研株式会社 社長 林田 雅典		実用書部 ⑤	用紙
B4判 (25.7cm×36.4cm) 白紙、紙質自由・横長に使用しタテ書きすること							
※漢字は新字体でも旧字体でも可。 梵のうへ あはれ花びらがれ をみなごに花びらがれ をみなごしめやかに語らひ あゆみ うららかなの聲音空にながれ をりふしに瞳をあけて 翳りなきみ寺の春をすぎ ゆくなり み寺の曇みどりにうるほひ 庵々に 風鐸のすがたしづかなれば ひとりなる わが身の影をあゆまする 梵のうへ				次 文 章 の 中 か ら 題 材 を 選 び 創 作 を す る 。 ●書体自由(篆書・隸書・楷書・行書・草書・ひらがな・カタカナなど) ●字数自由(一字〜多字数) ●書体は漢字部の①〜③の書体と重複してもかまわない。		創作部 ⑥	用紙
画仙紙半切 (タテ切り、ヨコ切り自由) 以上、全紙 (136cm×70cm) 以内 (タテ・ヨコ自由)							

(※師範受験者も含む)

## 令和6年度 毛筆部 師範試験実施要項

試験日時 令和7年2月22日(出) 受付 9:20~9:40  
説明 9:40~9:50  
試験 10:00~12:30  
試験 13:30~16:00

場 所 ①大津会場 大津勤労福祉センター 〒520-0806 大津市打出浜1-6 TEL 077-522-7474  
②湖北会場 臨湖(長浜勤労者総合福祉センター) 〒526-0067 長浜市港町4-9 TEL 0749-65-2120

師範受験希望者は、1月28日(火)~2月4日(火)迄に(当日消印有効)下記の事項を記入の上、郵便葉書でお申し込み下さい。受験申し込みは郵便葉書でのみ受付いたします。メールや手紙では受付できませんのでご注意下さい。受付後、当方より受験番号、受験上の注意等を書いた受験受付書を2月10日(月)迄に返送します。尚、2月14日(金)迄に受験票が届かない時はお手数ですがご一報下さい。

試験問題は当日に配布しますので過去に出題された問題と、この一年書册で勉強した事を幅広く練習しておいて下さい。なお創作部は、初段〜6段までの受験者と同じ課題を予め制作した上、試験当日持参して下さい。試験当日は、新たに創作部の実施試験は出題しません。

※諸事情により変更が生じた場合は、当協会ホームページにてお知らせします。

ホームページアドレス <https://www.syodo.or.jp/>

### 記

1. 氏名(フリガナを記入すること) (注) 1.の氏名は合格された時の認定額に使用しますので、正式にお書き下さい。
2. 郵便番号・住所・電話番号
3. 支部番号
4. 受験希望会場 (①大津・②湖北の何れかを明記) 受験会場は人数の都合により、ご希望に添えない場合がある事をご承知おき下さい。

送 り 先 〒528-0049 甲賀市水口町貴生川450-5 北川 雅子 滋賀県書道協会毛筆昇段試験係へ

持 ち 物 受験票、受験受付書、予め制作した創作部作品、以下の書道用具一式

### 書道用具

筆・墨(液体墨でも可) 紙は漢字用半切  
書体字典等も可(携帯電話等での検索不可) かな用半紙及び半懐紙  
下敷(全紙又は半切用)・ノリ・文鎮 賞状用用紙(B4白紙)  
古新聞(場所の関係で書いた作品を重ねて置くため)  
クリップ・鉛筆・角〇(287×382)の封筒等その場で仕上げて提出する事を考えて、その他必要な物をご持参下さい。

受験資格は受験票が送付され、令和6年3月号から令和6年12月号の間に5回以上出品された方。

お問い合わせ先

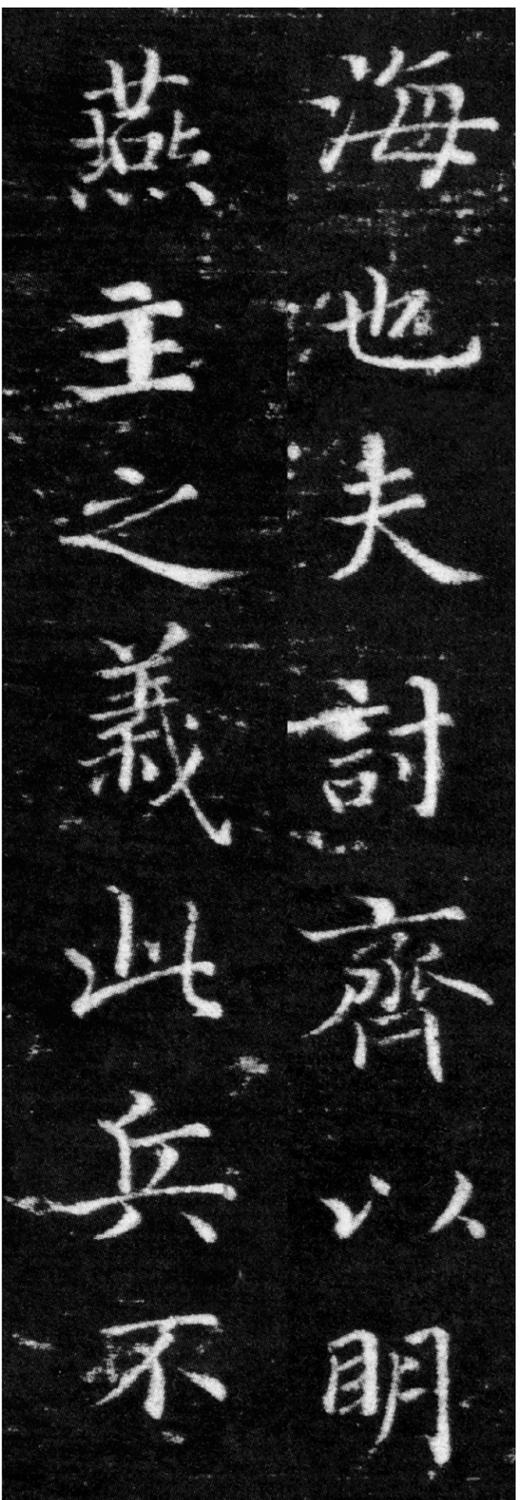
公益社団法人滋賀県書道協会 TEL 090-8888-9634

図版1 石門頌



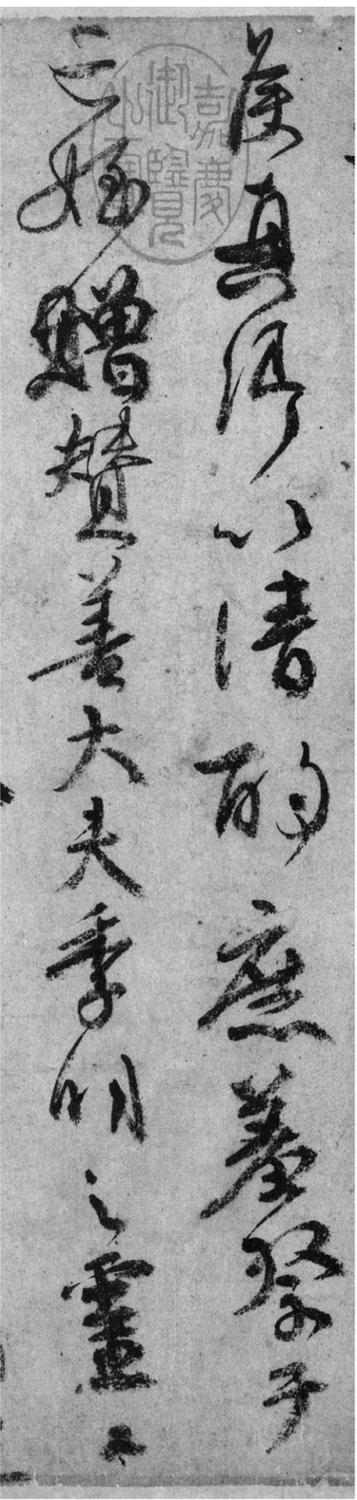
〔釈文〕 充 高祖受命 興於

図版2 樂毅論



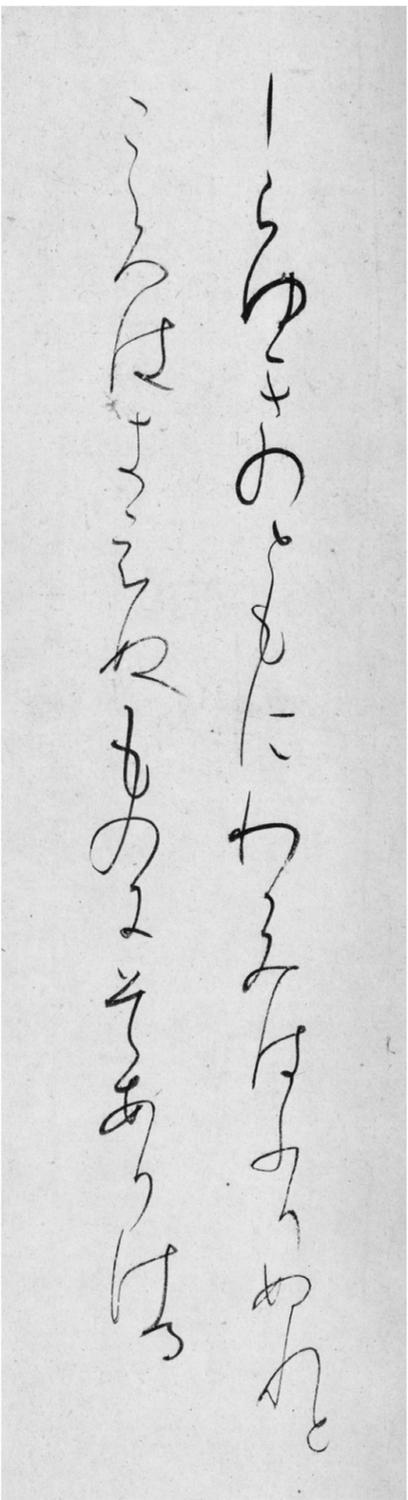
〔釈文〕 海也。夫討齊以明燕主之義此兵不

図版3 祭姪文稿



〔釈文〕 侯真卿。以清酌庶羞。祭于亡姪贈贊善大夫季明之靈。

図版4 高野切第三種



しらゆきのともにわがみは<sup>可</sup>ふりぬれどこゝろは<sup>支</sup>きえぬ<sup>尔</sup>ものにぞありける